

【施策評価調査】

施策名	4-2-3	情報の森とちぎへの企業誘致		109	施策目的 情報の森とちぎにおける未分譲地の解消によって、雇用機会の提供と、税収の向上・地域活性化を図る。
	※高根沢町地域経営計画2006 該当ページ				
担当部課	建設産業部 産業課	担当	商工業担当		施策内容 「情報の森とちぎ」への企業立地を促進するため、周辺地域の都市基盤を整備します。さらに、企業の進出を促す優遇措置について検討を行います。（※「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋）
		リーダー	石川 正佳		
環境変化	平成21年5月に既存企業による買い増しが行われ、未分譲地の殆どが売却された。残り1.5ヘクタールが未分譲地である。				

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①：新規進出企業数(社)	未分譲区画への誘致促進 11区画	計画	1	2	1	1	1
		実績	↓ 0	↓ 0	↓ 0	→ 1	
指標②：		計画					
		実績					
指標③：		計画					
		実績					
◆◆ 指標に関する特記事項 ◆◆							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	0	20,000	40,000	0	0
	決算	0	19,000	0	0	

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
①企業立地推進対策費	当初 0	未分譲区画への企業誘致	A	未分譲地の解消を進めることによって、税収の確保と、雇用創出の基盤ができた。			
	決算 0	1区画 / 1区画		今後の方向性(自己評価)	統合	今後の方向性(総合評価)	統合
②	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
③	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

■施策事後評価 21年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	情報の森の未分譲地は、残り1.5haであり、解消にあたっては、魅力ある工業団地としての環境づくりに加え、企業と関係機関・団体等との信頼を構築しながら進めてきている。	未分譲地の解消が進み、情報の森の新たな姿が現れつつある。町経済懇話会を活用するなど、企業との信頼関係を保ち、税収の確保と雇用創出に繋げるとともに、残地については、県土地開発公社と連携し、企業への売却を図っていく。
総合評価	「情報の森とちぎ」のみならず、キリンビールの跡地など政策である「新たな産業の創出」に向けて、企業の誘致についてどう施策展開するのか、町としてやるべきこと、県等関係機関と連携してやるべきことを整理した上で、施策の取り組み方をよく検討すること。	改善方針